

事業所名

LikePot基山

支援プログラム

作成日

7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念	【法人理念】子どもたちの未来を彩る仕事を。 【事業所理念】子どもたちの「できた」に寄り添い支援を行います。				
支援方針	「運動学習型放課後等デイサービス」として、メリハリのある日課スケジュールの中で『運動プログラム』『学習プログラム』『社会プログラム』を通して、子どもたちの持つ力を伸ばす支援を行います。また帰りの送迎がない分、家族との連携を密に、情報を共有し、家庭や事業所での「できた」を育みます				
営業時間	10 時	0 分	18 時	0 分	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし ※原則、帰りは家族送迎
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理：来所時のバイタルチェックの徹底や家族、学校との連携により体調に関する情報共有を行います。 体力づくり：事業所内外の活動を通じて、健康的な体づくりを支えるとともに、体の変化に応じて支援します。 ライフスキルトレーニング（LST）：身だしなみや食事マナー等、生活上のスキルを習慣化し、自立した生活が実現できるようサポートします。 安全教育：交通安全や防災訓練を通じて、日常の安全意識を高めるとともに、活動の機会を捉えて、ロールプレイと実践を行います。 生活リズムの確立：スケジュール管理や睡眠の重要性を学び、ご家族のご協力を得ながら、規則正しい生活を促します。 情緒の安定：個々に応じたカムダウンや感情コントロールを方法を学び、心の健康も支援します。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合療法：感覚を刺激する遊びやトランポリン等を使ったサーキットメニューで、バランス感覚と空間認識を養います。 身体機能向上：事業所内外での遊び、サーキットトレーニングを通じて、心肺機能の向上を図り、健康的な体づくりをサポートします。 音楽、感覚遊び：音楽に合わせたダンスやリズム遊び、暗闇でのライト遊び等で、リズム感と感覚の協調性を育み、楽しく体を動かします。 スポーツ活動：広いプレイルームを活用して、ボールを使った運動を主に、手眼協調を鍛えます。 屋外活動：公園などで、自然との触れ合いを楽しみながら体力と自立心を養います。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援：宿題のサポートなどを通じて、学習に臨む気持ちづくりを中心に、基礎的な学習スキルを強化します。 認知スキルの向上：パズルや知育玩具、記憶力ゲームを通じて、問題解決能力や記憶力を育みます。 自立課題：宿題だけでなく自立課題を通じて、指示の理解（インプット）と作業の遂行（アウトプット）の能力を高めます。 社会的スキルの育成：ソーシャルスキルトレーニング（SST）や役割遊びを通じて、友達とのコミュニケーションや協力の仕方学びます。 自己調整スキル：構造化をもちいて、感情の認識とコントロール、タイムマネジメントを伝え、自己調整能力を高めます。 モチベーションの向上：スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を感じ、自信をつけられるよう支援します。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 構造化支援：PECS（絵カード）で、言葉の理解や表を促し、子どもたちのコミュニケーションを支援します。 朝の会（はじまりの会）：来所時の会を通じてスケジュールの理解や表出、話を聞く、待てる、挨拶を行うなどを学びます。 言語発達支援：発音練習や語彙力向上のためのフラッシュカードや単語ゲームで、正しい言葉の使い方を学びます。 コミュニケーションの機会：遊びなど活動の検討などのグループでのディスカッションや対話の時間を設け、意見交換やコミュニケーションのスキルを養います。 非言語コミュニケーション：ジェスチャーや表情、アイコンタクトの練習を通じて、言葉以外のコミュニケーション方法を学びます。 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルスキルトレーニング：挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を練習し、友達との関わり方を体験します。 協力活動：お掃除や制作活動を通じて、友達とのやり取りを楽しみながら、チームワークと協調性を育みます。 社会参加活動：買い物活動や地域イベントに参加し、社会スキル（金銭管理など）を学ぶとともに、社会とのつながりや意識を育みます。 コミュニケーションの機会：遊びなど活動の検討などのグループでのディスカッションや対話の時間を設け、意見交換やコミュニケーションのスキルを養います。 エンパシートレーニング：絵本や感情カードを使って共感の練習を行い、他者の気持ちを理解する力を育みます。 自己肯定感の育成：成功体験の共有や日常的に他者を褒める習慣を通じて、自己肯定感を高め、互いの成長を喜び合う機会を提供します。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な帰りの送迎がないので、お迎えの際に時に家庭や学校の様子を共有する時間をしっかり設け、事後の療育活動での関わり方に活かします。 ファミラボの開催：ペアレントトレーニングを含む家族参加型の茶話会や学習会を通じて、他ご家族の体験談の共有などを支援します。 定期面談：定期的な面談（6か月に1回以上）で、お子さんの成長や課題について保護者と話し合い、心のケアをサポートします。 情報提供：研修会等を通じて、最新の情報や支援方法を共有し、家族の知識を深めます。 家庭での支援方法の提案：事業所でうまくいっていることなど提案し、家庭でも継続的に子どもを支援できるようサポートします。 				
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 切れ目ない支援：法人内に就労継続支援などもあるので、就労継続支援の状況の共有や見学などの対応を行います。 進学・就職のサポート：学校選びや入学試験（主に面接）の対策、進学や就職をサポートします。 社会体験活動：企業訪問や就労継続支援事業の見学を通じて、実際の職場で必要なスキルを学ぶとともに、社会を体験する活動機会を提供します。 生活スキルの向上：金銭管理や家事スキルの活動機会を設定し、自立した生活を送るための基本的なスキルを育てます。 自己理解と自己決定：自分の強みや希望を理解し、自分で決める力を育てる支援を行います。 サポートネットワークの構築：支援機関や学校などとの連携を通じて、継続的なサポートを受けられる環境を整えます。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の施設利用：図書館や体育館など、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 地域連携の強化：地域のNPOや学校、福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 情報提供：SNSの積極的な活用により、地域に活動内容や障がいについての理解を広めます。 啓発活動：一般社団法人アカルカ福祉協会との共同の「キラリマルシェ」や「WarmBlueKurume」を通じて、地域への障がい理解を深めます。 緊急時の地域連携：地域と連携した防災訓練や緊急支援ネットワークを構築し、災害時の対応力を高めます。 				
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 入社時研修：入社時に障がい特性や業務について基礎的な理解を学びます 現任研修：専門的な研修（月に1回以上を基準）や法人内の症例の共有やケーススタディを通じて、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 症例発表会：年に一度、事業所で取り組んだことや症例の共有を目的に、LikeLab発表会を開催しています。 資格取得支援制度：資格取得のための費用補助や学習支援、資格講座を提供し、職員の専門性を高めます。 評価とフィードバック：定期的（最低年2回）な評価とフィードバックを通じて、多角的な視点から職員の成長を支援しています。 継続的な学びの場の提供：勉強会や研修、最新情報を社内SNSで共有し、職員が自主的に学び続ける環境を整えています。 職場環境の改善：働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、福利厚生を活用し、チームワークや職員のストレス軽減を図っています。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節行事：初詣：いちご狩り（1月）、豆まき・バレンタインクッキング（2月）、ひな祭り・桜の花見（3月、4月）、こいのぼり・母の日（5月）、父の日（6月） 夏祭り・ミニ運動会：水遊び（7月、8月）、敬老の日（9月）、ハロウィンイベント・秋の工作（10月、11月）、クリスマス会：餅つき大会（12月） 社会体験活動：地域商店などでの買い物や昼食活動（毎月）、企業や就労支援事業所の見学（長期休暇時、年1～2回程度） 地域イベントへの参加：キラリマルシェなど地域イベントに参加し、社会性を高めます。 園芸活動：季節の収穫体験（収穫祭等） 				